学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	建築デザイン実習	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	自主編成教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築物を設計するにあたって必要なプレゼンテーション力を養うための３つの課題を設定しています。
・CGグラフィックを使用したポートフォリオ作成
・自身が設計した事務所ビルの模型製作
・ArchiCADの応用操作とGDLプログラミング、3Dモデリング制作
各課題は授業内でこなせるように構成していますが遅れた場合は毎回取り返すようにしてください。修得には原則、すべての課題の完成と提出を必須とします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

各課題とも事例研究をとおして、建築表現における新しいアイディアや創意工夫の学びをとおして、建築を総合的に考えられる能力と態度を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

実習で使用する道具・器具の使用法に関する知識と技術を習得する。

【学びに向かう力、人間性等】

プレゼンテーションをとおして自身の考えを伝える能力と態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各実習に関するそれぞれの分野の基礎的・基本的な技術を身に付け、建築に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	各実習に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	各実習の内容について関心を持ち、その技術の修得をめざし主体的に取組むとともに、創造的に各実習を学ぶ態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	ポートフォリオ作成	・adobe系ソフトを使用した図面のプレゼンテーション 工芸高校で作成してきた作品をポートフォリオとして制作	a: adobe系ソフトについての基礎的・基本的な技術を身に付け、社会における建築の意義や役割を理解している。 b: adobe系ソフトの基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に表現する創造的な能力を身に付けている。 c: adobe系ソフトに関心を持ち、建築図面のありかたや考え方の修得をめざし主体的に取組むとともに、創造的に学ぶ態度を身に付けている。	学習状況の観察	課題の成果状況	課題の進捗・提出状況
通年	事務所ビル模型演習	・設計した事務所ビルの模型用図面の作成 ・部品の取り合いのスタディ ・材料の選定 ・本模型の制作	a: 建築模型の応用技術を身に付け、建築に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 b: 建築模型に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、応用し、表現する創造的な能力を身に付けている。 c: 建築模型について関心を持ち、その技術の修得をめざし主体的に取組むとともに、創造的に学ぶ態度を身に付けている。	学習状況の観察	課題の成果状況	課題の進捗・提出状況
	3DCAD演習	・ArchiCADの応用操作 ・ArchiCAD GDLプログラミングによるオブジェクトの作成 ・3Dモデリングソフトの基本操作 ・3Dモデリング制作 ・3Dプリンタによる出力	a: 3DCADについて関心を持ち、基礎的・基本的な技術を身に付け、社会における建築の意義や役割を理解している。 b: 3DCADの基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 c: 3DCADの基礎的・基本的な技術を身に付け、建築に関する諸活動を合理的に計画し、創造的に学ぶ態度を身に付けている。	学習状況の観察	課題の成果状況	課題の進捗・提出状況

※　表中の観点について
a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度